

事務事業実績測定調書

R5調書番号 392

事務事業名称	NPO活動支援事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	市民活動課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します									
	実行計画名	計画推進2-1.市民活動の支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2007 (H19) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	NPO活動応援基金補助事業補助金		サンセット	2023 (R5) 年度	～ 2025 (R7) 年度
関係附属機関名称	枚方市NPO活動応援基金支援審査会				
事業対象	メインターゲット	市内で活動する市民やNPOの市民活動団体			
	サブターゲット	市内で活動する市民やNPOの市民活動団体の活動を受けて、生活の利便性などが向上する市民			
	ターゲットが抱える課題	市民やNPO・市民団体等の連携、市民活動の情報収集・発信、市民活動の担い手及び市民活動の資金が不足している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民やNPO、市民団体等の市民活動が活性化される。				
事業概要	1. NPOサポート事業 市民やNPO、市民団体等の市民活動の活性化を促進するため、サブリ村野を拠点に市民活動の情報を収集・発信し、相互の情報交換や人材育成を図る。 2. NPO活動応援基金補助事業 市民・法人等からの寄付金の受け皿となる枚方市NPO活動応援基金を原資として、市内のNPO法人へ補助金を交付することにより自主的な市民活動の推進を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市民やNPO、市民団体等の市民活動が活性化される。				市民やNPO、市民団体相互の情報交換や人材育成が図られる。				サブリ村野を拠点に、市民活動の情報を収集・発信する。				
指標設定	指標説明	市民やNPO、市民団体等の市民活動の拠点であるサブリ村野の利用率 【算出率:利用時間枠数/利用可能時間枠数×100】				サブリ村野学校の開催団体数				ひらかた市民活動支援センター及びサブリNPOセンター登録団体数				
		単位		%		単位		団体		単位		団体		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	45	50	55	60	12	15	18	20	550	570	590	610
		実績	37	39.10	46.50	49.70	8	6	15	17	276	326	357	364
	達成度	83%				85%				60%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民やNPO、市民団体等の市民活動が活性化される。	市内のNPO法人に対して補助金を交付する。				市内のNPO法人に対し、NPO活動応援基金への登録を促す。			
指標設定②	指標説明	市民やNPO、市民団体等の市民活動の拠点であるサブリ村野の利用率 【算出率:利用時間枠数/利用可能時間枠数×100】	NPO活動応援基金への申請団体数				NPO活動応援基金の登録団体数			
		単位 %	単位 団体				単位 団体			
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	45 50 55 60	12 16 20 24	15 20 25 30	16 12 10 9	15 20 25 30	16 12 10 9	15 20 25 30	16 12 10 9	15 20 25 30
	実績	37 39.10 46.50 49.70	10 6 6 3	16 12 10 9	16 12 10 9	16 12 10 9	16 12 10 9	16 12 10 9	16 12 10 9	16 12 10 9
達成度		83%	13%				30%			
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民やNPO、市民団体等の市民活動が活性化される。	「NPOフェスタ」の開催により、市民へのNPO団体の活動のPRにつながる。				NPO団体が「NPOフェスタ」へ参加し、市民へ活動をPRする。			
指標設定③	指標説明	市民やNPO、市民団体等の市民活動の拠点であるサブリ村野の利用率 【算出率:利用時間枠数/利用可能時間枠数×100】	NPOフェスタの来場者数				NPOフェスタの参加団体数			
		単位 %	単位 人				単位 団体			
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	45 50 55 60	4,000 4,250 4,500 4,750	48 50 52 54	35 - 40 43	48 50 52 54	35 - 40 43	48 50 52 54	35 - 40 43	48 50 52 54
	実績	37 39.10 46.50 49.70	3,068 - 2,700 3,000	35 - 40 43	35 - 40 43	35 - 40 43	35 - 40 43	35 - 40 43	35 - 40 43	35 - 40 43
達成度		83%	63%				80%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.67
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	6.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	5,500	6,250	5,290		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	171	190	152		
	人件費計	5,671	6,440	5,442		
	物件費計	17,719	19,295	19,228	22,789	84.4%
歳出計		23,390	25,735	24,670		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1,768	3,996	4,136	7,659	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,768	3,996	4,136	7,659	
一般財源（物件費に充当されるもの）		15,951	15,299	15,092	15,130	

5. 総括的分析

総括的分析	市民活動の拠点であるサブリ村野NPOセンターの利用率について、目標は下回ったが、前年度より上昇した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	NPOの中間支援組織である、ひらかた市民活動支援センターと連携し、NPOの活動支援を継続して取り組むとともに、市民活動の活性化を推進する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 394

事務事業名称	コミュニティ活動事業(補)										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	市民活動課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	①H2年度(1990年度)②H19年度(2007年度)	年度	～		年度まで
根拠法令等	①枚方市校区コミュニティ活動補助金交付要綱 ②枚方市地域づくりデザイン事業補助金交付要綱				
関係補助金名称	①枚方市校区コミュニティ活動補助金 ②枚方市地域づくりデザイン事業補助金	サンセット	2021(R3)年度	～	2023(R5)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	各校区コミュニティ協議会			
	サブターゲット	各校区の住民			
	ターゲットが抱える課題	各校区コミュニティ協議会における主体的な活動の活性化を図るため、取り組みを支援する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	校区コミュニティ協議会の主体的な活動により、安全で魅力あるまちづくりの推進及び地域住民の連携の促進が図られている状態。				
事業概要	①校区コミュニティ活動補助金:地域の特色を生かした弾力的な運用が可能な基礎額(均等割額及び人口割額)と用途を限定した特別事業(青色防犯パトロール活動補助金)の二段構成となっている補助金。基礎額については均等割9割、人口割1割の割合だったものを、対象住民数を踏まえた公平性の観点から予算の範囲内で令和3年度から令和5年度まで3年間に渡り段階的に均等割8割、人口割2割に移行していく。 ②地域づくりデザイン事業補助金:地域住民が様々な地域づくりのアイデアを出し合い、校区コミュニティ協議会がその実現に向けて主体的かつ持続的に行う活動に対して支援を行う補助制度。 令和3年度から、審査会の廃止や申請書類の簡素化など、申請手続きの負担軽減を図るとともに、補助金額の上限についても1校区あたり最大2年で120万円(複数校区で実施する場合も同額)の交付に変更した。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		校区コミュニティ協議会の安全で魅力あるまちづくりの推進及び地域住民の連携の促進が図られる。	校区コミュニティ協議会の主体的な活動が実施される。	校区コミュニティ協議会の運営に対し、校区コミュニティ活動補助金を交付する。
指標設定	指標説明	さらなる地域活動の活性化が図られた校区数	校区コミュニティ協議会による活動件数 (令和3年度より校区コミュニティ協議会の負担軽減を目的に活動報告の様式を変更し、それに合わせ、活動件数集計方法も変更した)	校区コミュニティ活動補助金交付により、コミュニティ活動の支援を行った校区数
		単位 校区	単位 件	単位 校区
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標(見込み)	45 45 45 45	10,000 15,000 20,000 22,000	45 45 45 45
		実績		
		45 45 45 45	16,397 11,890 6,086 6,895	45 45 45 45
		達成度	100%	31% 100%

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		校区コミュニティ協議会の安全で魅力あるまちづくりの推進及び地域住民の連携の促進が図られる。				地域づくりデザイン事業を実施する。				校区コミュニティ協議会に地域づくりデザイン事業補助金を交付する。			
指標設定②	指標説明	さらなる地域活動の活性化が図られた校区数				地域づくりデザイン事業を実施した校区数				地域づくりデザイン事業補助金交付によりコミュニティ活動の支援を行った校区数			
		単位 校区				単位 校区				単位 校区			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	45	45	45	45	0	3	2	4	0	3	2	4
	実績	45	45	45	45	0	3	2	1	0	3	2	1
達成度		100%				25%				25%			
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		校区コミュニティ協議会の安全で魅力あるまちづくりの推進及び地域住民の連携の促進が図られる。				青色防犯パトロール活動の実施				青色パトロール防犯活動の申請			
指標設定③	指標説明	さらなる地域活動の活性化が図られた校区数				青色防犯パトロール活動を実施した校区数				補助金交付により青色防犯パトロール活動の支援を行った校区数			
		単位 校区				単位 校区				単位 校区			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	45	45	45	45	13	13	13	13	13	13	13	13
	実績	45	45	45	45	13	13	11	10	12	12	11	10
達成度		100%				77%				77%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	11,786	11,718	11,843		
	会計年度任用職員	31	22	21		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,817	11,740	11,864		
	物件費計	55,664	54,714	54,447	55,168	98.7%
歳出計		67,481	66,454	66,311		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		55,664	54,714	54,447	55,168	

5. 総括的分析

総括的分析	校区コミュニティ活動補助金および地域づくりデザイン事業補助金を交付することにより、各校区コミュニティ協議会における活動の活性化が図られた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	補助金を交付することにより、校区コミュニティ協議会が行う安全・安心のまちづくりに向けた活動に対する支援を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 404

事務事業名称	自治会館建設等支援事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	市民活動課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します									
	実行計画名	計画推進2-1.市民活動の支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1970(S45)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	自治会館建設等助成金交付規則				
関係補助金名称	自治会館建設等助成金		サンセット	2021(R3)年度	～ 2023(R5)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	自治会			
	サブターゲット	自治会活動を行う自治会員をはじめ、自治会館を使用される地域住民等			
	ターゲットが抱える課題	自治会活動の拠点である自治会館の整備			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	自治会活動の拠点である自治会館の整備が促進され、自治会活動の活性化が図られている状態。				
事業概要	住民による安全・安心のまちづくりや、住民同士の連携など、住民自治の振興を図ることを目的として、地域活動の拠点であり、住民の連携を促進するために大変重要な役割を果たす自治会館の建設等を行う際、自治会館建設等助成金を交付している。 また、市内で一定規模以上の住宅開発が行われる際には、集会施設を設置するよう協議・指導を行っているほか、過去の住宅開発に伴い、開発業者から自治会館建設用地として市が寄付を受けたが、自治会による自治会館建設に至っていない用地について、市が維持管理を行っている。 なお、令和3年度に自治会館建設等助成金交付規則を改正し、次の点について見直しを実施。 ①建築物価の変動を踏まえ、これまで据え置いていた「新築」及び「建替え」に対する助成限度額を500万円から750万円に増額。 ②自治会において計画的な改修を行うことにより、自治会館の長寿命化と建物の適切な維持管理を促進するため、建物全般の改修に柔軟に対応できる新たなメニューとして「改修」を創設し、限度額を300万円とした。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		自治会活動の拠点である自治会館の整備が促進され、自治会活動の活性化が図られる。				自治会館の新築・建替えや、改修等が実施される。				自治会館の建設等に対し、助成金を交付する。			
指標設定	指標説明	活動の拠点となる自治会館の整備による地域活動の活性化が図られた自治会の数				自治会館を整備した自治会の数				自治会館建設等助成金の交付により、自治会館の整備を支援した自治会の数			
		単位 件				単位 件				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	15	7	11	11	12	5	9	9	12	5	9	9
	実績	8	6	7	9	8	4	7	9	8	4	7	9
達成度		82%				100%				100%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		自治会活動の拠点である自治会館の整備が促進され、自治会活動の活性化が図られる。				住宅建設等開発行為に伴う集会施設(自治会館)の建築・設置が進む。				住宅建設等開発行為を行う事業者に対し、集会所用地の提供及び集会施設の建築・設置を協議・指導する。				
指標設定②	指標説明	活動の拠点となる自治会館の整備による地域活動の活性化が図られた自治会の数				集会施設(自治会館)の建築・設置に向けた開発協議に伴う完了検査を行った数				集会所用地の提供及び集会施設の建築・設置を協議・指導する数				
		単位		件		単位		件		単位		件		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	15	7	11	11	3	2	2	2	3	2	2	2
		実績	8	6	7	9	0	2	3	2	1	2	3	0
達成度		82%				100%				0%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	10,214	10,156	10,264		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	10,214	10,156	10,264		
歳入	物件費計	15,278	40,945	13,446	15,933	84.4%
	歳出計	25,492	51,101	23,710		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	6	6	17	5	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1,000	16,084	1,328	926	
歳入計(物件費に充当される特定財源)		1,006	16,090	1,345	931	
一般財源(物件費に充当されるもの)		14,272	24,855	12,101	15,002	

5. 総括的分析

総括的分析	自治会館の整備に対する支援により、自治会活動の拠点である自治会館の整備が促進され、自治会活動の活性化が図られた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	自治会館建設等助成制度について、自治会への制度の周知を引き続き行うとともに、自治会のニーズに沿った制度の活用を促進することで、さらなる自治会活動の活性化を図っていく。開発行為については、引き続き自治会館の建築・設置基準を満たす開発に対して建築・設置の協議・指導を行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 700

事務事業名称	市民憲章普及啓発事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	市長公室		課	市民活動課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1971(S46)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	全市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市民憲章のさらなる普及啓発を行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民憲章が広く市民に普及し、市民憲章に掲げる市民道徳、生活規範が確立されている状態。				
事業概要	・本市市民憲章の普及啓発のための各種啓発活動 ・市内25か所に設置されている憲章板・碑の管理 ・枚方市民憲章を推進する会の運営委員会の開催への協力。 ※枚方市民憲章を推進する会は、市民団体をはじめとする各種団体から選出されたメンバーからなる団体で、市の実施する市民憲章の普及啓発に対し、市民の立場から提言し、協力、連携を図っている。 本事業は市民自身の手によって策定された枚方市民憲章を啓発するため、ティッシュ等の啓発グッズの配布・設置による啓発活動が中心であったが、今後は市ホームページをはじめ、関係部署が発行する冊子への掲載やSNS等、様々な媒体を活用し、効果的に実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市民憲章が広く市民に普及し、市民憲章に掲げる市民道徳、生活規範が確立されている。				市民憲章を知っている市民が増える。				市民憲章の啓発事業を検討する。				
指標設定	指標説明		市民憲章の認知度 【算出式:スマホアンケートにおいて「市民憲章を知っている」と回答した者の数／スマホアンケートの有効回答者数×100】				啓発ティッシュの配布数				イベント等による啓発回数			
			単位		%		単位		個		単位		回	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	50	60	70	80	7,000	7,000	7,000	7,000	4	4	4	4
		実績	33.85	31.90	39.70	38.50	1,500	1,000	1,000	1,000	0	1	1	0
	達成度		48%				14%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.08
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,571	1,562	632		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,571	1,562	632		
	物件費計	50	4	12	30	40.0%
歳出計		1,621	1,566	644		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		50	4	12	30	

5. 総括的分析

総括的分析	市民活動課窓口で啓発用ポケットティッシュを配布、市ホームページや関係部署が発行する冊子への市民憲章の掲載等による啓発活動を実施した。市民憲章の認知度は目標を下回ったが、昨年度と同程度となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	啓発ティッシュの配布を行うとともに、市ホームページをはじめ、関係部署が発行する冊子への掲載やSNS等、様々な媒体を活用し、効果的に啓発活動を実施する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 711

事務事業名称	コミュニティ連絡協議会運営事務											
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	市民活動課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1997(H9)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市コミュニティ連絡協議会			
	サブターゲット	枚方市コミュニティ連絡協議会に参画する各校区コミュニティ協議会			
	ターゲットが抱える課題	枚方市コミュニティ連絡協議会の運営をより円滑に行うため、その運営を支援する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市コミュニティ連絡協議会の運営をより円滑に行うことで、市内における共通の地域課題の共有化を図るとともに、地域住民の連携、安全・安心で魅力ある地域づくりが推進されている状態。				
事業概要	校区コミュニティ協議会の自主的な活動を支援し、地域の活性化に資する活動を行うことにより、地域住民の連携を促進し、安全・安心で魅力ある地域づくりを推進することを目的として組織された枚方市コミュニティ連絡協議会の事務を市民活動課で行い、その運営に対し支援を行っている。 また、行政からの情報提供について、取りまとめのうえ、枚方市コミュニティ連絡協議会を通じて校区コミュニティ協議会へ紙媒体で送付している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		地域住民の連携、安全・安心で魅力ある地域づくりが推進される。				校区コミュニティ協議会の自主的な活動や地域の活性化に資する活動が実施される。				枚方市コミュニティ連絡協議会の事務を行い、その運営を支援する。			
指標設定	指標説明	地域住民の連携、安全・安心で魅力ある地域づくりの推進のため活動を実施した団体数				枚方市コミュニティ連絡協議会会議の開催状況(総会・校区代表者会議・役員会・ブロック会議)				支援の対象団体数(枚方市コミュニティ連絡協議会及び各校区コミュニティ協議会)			
				単位	団体数			単位	回			単位	団体数
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	46	46	46	46	22	22	22	22	46	46	46	46
	実績	46	46	46	46	18	20	24	20	46	46	46	46
	達成度	100%				91%				100%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		地域住民の連携、安全・安心で魅力ある地域づくりが推進される。				校区コミュニティ協議会やその参画団体が行政等からの情報を共有する。				枚方市コミュニティ連絡協議会を通じて、校区コミュニティ協議会へ行政の依頼やお知らせを送付する。			
指標設定②	指標説明	地域住民の連携、安全・安心で魅力ある地域づくりの推進のため活動を実施した団体数				校区コミュニティ協議会やその参画団体が、枚方市コミュニティ連絡協議会を通じて行政からの情報提供を受けた回数				枚方市コミュニティ連絡協議会を通じて、校区コミュニティ協議会へ行政の依頼やお知らせを送付した回数			
		単位 団体数				単位 便				単位 便			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	46	46	46	46	12	12	12	12	12	12	12	12
	実績	46	46	46	46	18	19	13	14	18	19	13	14
	達成度	100%				117%				117%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

4. 決算額				(千円)				
				R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付		11,000	11,718	11,843		
		会計年度任用職員		61	22	21		
		特別職非常勤		0	0	0		
		附属機関委員		0	0	0		
		人件費計		11,061	11,740	11,864		
	物件費計		568	469	406	525	77.3%	
歳出計			11,568	12,209	12,270			
歳入	国庫支出金			0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金			0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）			0	0	0	0	
	市債			0	0	0	0	
	その他			0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）			0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）			568	469	406	525		

5. 総括的分析

総括的分析	・枚方市コミュニティ連絡協議会では、年18回の会議（総会1回、役員会5回、校区代表者会議4回、ブロック会議8回）が開催され、各団体間での情報・意見交換が行われた。 ・行政からの依頼やお知らせを、同協議会を通じて校区コミュニティ協議会やその参画団体に送付（14回）することで、行政の情報を地域に共有をすることができた。 ・同協議会において、地域活動活性化の推進及び地域における情報共有のICT化の推進を目標に掲げ、本市と共に推進した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	枚方市コミュニティ連絡協議会の運営を支援していくとともに、地域活動の活性化に向け、同協議会と連携し取り組んでいく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 712

事務事業名称	サブリ村野NPOセンター施設維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	市長公室			課	市民活動課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2013(H25)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立サブリ村野NPOセンター条例、枚方市立サブリ村野NPOセンター条例施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	NPOその他の市民団体にサブリ村野NPOセンターを利用する利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	NPOその他の市民団体の活動の場の提供が必要である。			
	ターゲットが抱える課題	サブリ村野NPOセンターを利用するNPOその他の市民団体が、安全に利用できるような必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	サブリ村野NPOセンターを利用するNPOその他の市民団体が施設を安心して安全快適に利用でき、市民活動の場が充実している状態。				
事業概要	【施設概要】 所在地:村野西町5-1 開設年月日:平成25年4月1日 建物面積:956.6㎡ 建物構造:鉄筋コンクリート造 3階建 元村野小学校の耐震化やバリアフリー化などの工事を実施し、施設の一部をNPOその他の市民団体の活動の場として提供し、市民団体の主体的な活動を支援するため、「サブリ村野NPOセンター」として、平成25年4月にリニューアルオープンした。サブリ村野NPOセンターの施設は、一時利用室(7室)、長期利用室(7室)、貸しロッカー等を備えており、施設利用に係る窓口業務等を特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センターに委託している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
ロジックモデル						サプリ村野NPOセンターが適正に維持管理され、文化活動等が活性化される。				必要な保守点検等を実施する。						
指標設定	指標説明						修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				必要な保守点検数の実施予定回数					
							単位		%				単位		回	
	指標種類						減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
							R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)						100以内	100以内	100以内	100以内	33	33	33	33		
	実績						0	0	0	2,772	33	33	33	33		
達成度						-2572%				100%						

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.28
再任用	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,357	4,635	3,722		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,357	4,635	3,722		
歳入	物件費計	11,038	11,948	11,420	13,762	83.0%
	歳出計	13,395	16,583	15,142		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	4,228	4,952	5,225	4,586	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	4,228	4,952	5,225	4,586	
一般財源（物件費に充当されるもの）		6,810	6,996	6,195	9,176	

5. 総括的分析

総括的分析	適切に施設整備の保守点検を実施した。 長期利用室の空調に不具合があり緊急修理を行った。当初予算以上の修繕料が発生したが、修繕後は継続して施設を使用することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	サブリ村野NPOセンターを利用するNPOその他の市民団体が施設を安心して安全快適に利用できるように、施設の維持管理を行い、安心して使用できる市民活動の場の提供を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 713

事務事業名称	ボランティア表彰事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	市民活動課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり							
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1995 (H7) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市ボランティア表彰要領				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	次の要件のいずれにも該当する者とする。 (1)社会に貢献する活動を過去5年以上にわたり行い、その功績が顕著で他の模範となる者 (2)市内に在住しボランティア活動を行っている者、又は市外在住であるが市内でボランティア活動を行っている個人。 あるいは、市内に主たる拠点を置きボランティア活動を行って団体、又は市外に拠点を置くが市内でボランティア活動を行って団体。			
	サブターゲット	ボランティア活動の恩恵を受ける市民等			
	ターゲットが抱える課題	ボランティア活動を行い、社会に貢献している個人又は団体を労う場が少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
	めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ボランティア活動の促進			
事業概要	ボランティア活動を行っている団体や個人の労をねぎらい、今後の活躍を期待し促進するために市長表彰を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		広く社会一般にボランティア精神の浸透が図られ、市民によるボランティア活動が促進する。				応募があった個人及び団体を審査し、表彰する。				ボランティア活動を通じて社会に貢献している個人及び団体を募集する。				
指標設定	指標説明	市が関わるボランティア参加事業の活動件数				推薦件数				推薦依頼件数				
	単位		件		単位		件		単位		件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	1,850	1,900	1,950	2,000	50	50	50	50	3	3	3	3
		実績	1,687	1,263	1,070	1,343	157	59	66	64	3	3	3	3
達成度		67%				128%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.08
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.04
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,571	1,562	632		
	会計年度任用職員	46	44	84		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,617	1,606	716		
歳入	物件費計	96	148	155	144	107.6%
	歳出計	1,713	1,754	871		
	国庫支出金	0	0	0	0	
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		96	148	155	144	

5. 総括的分析

総括的分析	推薦件数は、目標値を大きく上回った。また、市が関わるボランティア参加事業の活動件数は、目標値に及ばなかったものの、令和4年度を上回った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	ボランティア活動を通じて社会貢献をしている個人・団体に対しての表彰を引き続き行う。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 714

事務事業名称	市民公益活動補償保険事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	市長公室			課	市民活動課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1984(S59)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公益活動を行う校区コミュニティ協議会、自治会(参画団体及び枚方市コミュニティ連絡協議会)及びその他市内に活動拠点のある5人以上の市民等(市内在学・在勤の人を含む)で構成された団体			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市民団体等が公益活動を行う上で、ケガ等のリスクがある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民団体等が安心して市民活動を実施することができる。				
事業概要	校区コミュニティ協議会・自治会(参画団体及び枚方市コミュニティ連絡協議会を含む)及び市民団体の日本国内における日帰りの公益活動(子ども防災キャンプについては宿泊を伴う活動も含む)時に発生した損害賠償責任事故及び傷害事故について補償する市民公益活動補償保険の団体登録、事故発生時の受付及び保険会社への報告を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市民団体等が安心して市民活動を実施することができる。				市民公益活動補償保険制度が広く知られる。				市民公益活動補償保険制度を周知する。				
指標設定	指標説明	登録団体数				要項配布数				要項設置施設数				
	単位		団体		単位		枚		単位		か所			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	745	750	755	760	360	360	360	360	18	18	18	18
		実績	724	725	722	698	360	360	380	380	18	18	18	18
達成度		92%				106%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.27
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,143	3,125	2,132		
	会計年度任用職員	200	222	421		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,343	3,347	2,553		
	物件費計	1,674	1,443	1,156	2,610	44.3%
歳出計		5,017	4,790	3,709		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,674	1,443	1,156	2,610	

5. 総括的分析

総括的分析	一般団体の登録数が減少したことにより、登録団体数が前年を下回っている。
-------	-------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市民団体等が安心して市民活動ができるよう引き続き事業を実施する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 716

事務事業名称	自治会掲示板交付事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	市長公室			課	市民活動課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1987(S62)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	自治会掲示板の交付に関する要綱				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	掲示板の交付申請を行う自治会			
	サブターゲット	掲示板にある情報を閲覧される地域住民等			
	ターゲットが抱える課題	自治会における地域住民への情報提供の充実を図る。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域広報が充実し、地域住民相互の交流や活動の促進が図られている状態。				
事業概要	「自治会掲示板交付要綱」に基づき、原則として1会計年度に1自治会1枚を配布するもの。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		地域住民相互の交流や活動の促進が図られる。				地域広報が充実する。				自治会掲示板を、原則として1会計年度に1自治会1枚配布する。				
指標設定	指標説明	掲示板が配置されている自治会の割合				自治会掲示板が取り換えまたは新規設置された数				交付申請数				
	単位		%		単位		枚		単位		枚			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
			R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		90	90	90	90	30	30	30	30	30	30	30	30
	実績		87	87	88	89	29	21	24	33	29	21	24	33
達成度		99%				110%				110%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,143	3,125	3,158		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,143	3,125	3,158		
	物件費計	1,164	273	572	750	76.3%
歳出計		4,307	3,398	3,730		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,164	273	572	750	

5. 総括的分析

総括的分析	掲示板の交付数はコロナ禍前と同程度まで回復し、昨年度より増加した。
-------	-----------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き自治会掲示板を交付することにより、地域住民相互の交流や活動の促進を図る。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 717

事務事業名称	特定非営利活動法人設立認証等事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	市長公室			課	市民活動課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2012(H24)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	特定非営利活動促進法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	特定非営利活動法人の設立を目指す市民団体等及び市内の特定非営利活動法人			
	サブターゲット	市内で活動する特定非営利活動法人の公益活動により恩恵を受ける市民			
	ターゲットが抱える課題	市民活動団体が安定した運営を行う。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	特定非営利活動法人の設立認証等を行うことにより、団体の運営が安定し、市民活動が活性化する。				
事業概要	法人の設立認証等に係る相談業務と特定非営利活動促進法に基づき、特定非営利活動法人の設立認証、設立後の法人に対する事業報告書受理、立入検査、改善命令等の事務を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						市民活動団体の運営が安定する。				特定非営利活動法人の設立認証等に係る事務を実施する。			
指標設定	指標説明					市内の特定非営利活動法人数				特定非営利活動法人の設立認証件数			
	単位		法人		単位		件						
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)				115	120	125	130	5	5	5	5
		実績				117	111	105	105	5	4	0	2
達成度						81%				40%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.37
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,929	3,906	2,921		
	会計年度任用職員	61	22	105		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,990	3,928	3,026		
	物件費計	215	205	168	900	18.7%
歳出計		4,205	4,133	3,194		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	215	1,224	1,304	1,560	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	215	1,224	1,304	1,560	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	特定非営利活動法人の設立認証の件数と解散された法人の数が同数であり、法人数は横ばいとなっている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、特定非営利活動の健全な発展を促進するため、特定非営利活動法人からの事業報告書の提出をはじめ、各種申請・届出の処理・受理業務を円滑に行うとともに、あわせて監督・指導業務を的確に行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 729

事務事業名称	協働のまちづくり推進事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	市民活動課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します									
	実行計画名	計画推進2-1.市民活動の支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2016 (H28) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市民や市民団体、NPO、事業者等			
	サブターゲット	協働によるまちづくりの推進による市民サービスを提供される市民			
	ターゲットが抱える課題	市民や市民団体、NPO、事業者など多様な主体が地域課題を共有し、信頼関係を深め、適切な役割分担を行い、協働によるまちづくりを進める必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	市民や市民団体、NPO、事業者など多様な主体の協働によるまちづくりが推進されている。				
事業概要	地域との協働を推進するため、地域住民団体の活動支援を所管とする市民活動課が校区コミュニティ協議会と意見交換を行い、必要に応じて関係課とマッチングするなど、地域の公共的課題の解決に向けて取り組む。 また、行政とNPOとの意見交換会をひらかた市民活動支援センターと協働して実施するとともに、職員を対象に、協働に関する研修を実施し、啓発を進める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		ロジックモデル				職員の協働に対する理解を深める。				市民活動課職員の枚方市コミュニティ連絡協議会の会議等への参加、またNPOとの意見交換会を実施する。				
指標設定	指標説明		多様な主体との協働による事業件数				枚方市コミュニティ連絡協議会の会議等及びNPOとの意見交換会、協働に関する研修への参加延べ職員数				市民活動課職員の枚方市コミュニティ連絡協議会の会議等への参加回数、NPOとの意見交換会の開催回数、協働に関する研修開催回数			
			単位		件		単位		人		単位		回	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
			R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		170	180	190	200	105	170	180	190	17	25	25	25
	実績		198	224	239	254	357	267	182	421	8	23	26	23
	達成度		127%				222%				92%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,286	6,250	6,316		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,286	6,250	6,316		
歳入	物件費計	0	20	0	10	0.0%
	歳出計	6,286	6,270	6,316		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	20	0	10	

5. 総括的分析

総括的分析	動画研修での協働事例の共有や、コミュニティ・NPOとの意見交換等により、職員の協働に対する意識醸成を行うことができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	協働によるまちづくりを一層推進していくため、引き続き取り組みを進めていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 850

事務事業名称	市民活動課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	市民活動課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外								
	施策目標	99.施策体系外								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市民活動課所属職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	課の運営が円滑に進む。				
事業概要	課の運営事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.88
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,857	7,812	6,948		
	会計年度任用職員	292	222	421		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,149	8,034	7,369		
	物件費計	47	37	3	0	
歳出計		8,196	8,071	7,372		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		47	37	3	0	

5. 総括的分析

総括的分析	市民活動課における行政事務及び庶務事務については、円滑かつ適正に執行した。
-------	---------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	課の運営について円滑かつ適正な処理を行う。